

ノーモア・ヒバクシャ通信 第17号

発行 2014年6月30日

ホームページ <http://www.kiokuisan.jp/>
ブログ
<http://tks-forum2011.blog.ocn.ne.jp/hibakusha/>

発行者 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085

東京都千代田区六番町15プラザエフ6F

TEL/Fax 03-5216-7757 (直通)

Email hironaga8689@gmail.com

郵便振替口座 00170-5-694752

(口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金

★もくじ

I. 第2回通常総会のご報告	P 1
II. 第1回継承センター設立委員会のご報告	P 2
III. 「核兵器の反人間性に関するレポート」について	P 2
IV. 第2回ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク打ち合わせのご報告	P 3
V. 継承する会の紹介パンフ	P 6
VI. 継承の取り組みのご紹介 (第7回)	P 7
VII. 各地の原爆展や原爆死没者追悼式・慰霊祭などの行事	P 8
VIII. 継承する会ホームページのリニューアルと、「継承ブログ」創設のお知らせ	P 11
IX. 被爆者の声を受けつぐ映画祭2014のご案内	P 11
X. 2014年度会費納入のお願い	P 12

I. 第2回通常総会のご報告

去る5月17日、特定非営利活動法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の第2回通常総会が、東京四谷の主婦会館プラザエフで開催されました。その概要をご報告します。

総会の冒頭、岩佐幹三代表理事が要旨次のように挨拶しました。

「この一年、資料センター検討委員会で議論を重ね、「継承センターの基本構想」ができました。この多方面にわたる活動の使命を果たす担い手は、会員の皆さんです。一人ひとりの力を発揮していただきたい。継承センターは、会の活動全体を支える組織機構です。活動を支える財政を確立するためにも、会員の拡大にご協力をお願いします。」

総会は、延べ24名の会員が発言し、率直な意見交換が進められました。2013年度事業報告、決算、役員選任を賛成多数で承認し、2014年度事業計画、予算についても討議を深めました。今回は、事業報告の一環として原爆の反人間性を告発する映像作品を上映し、また、会場において資料収集の現状を知っていただくために整理作業の写真や貴重な文献の展示を行いました。総会後に懇親会をもち、参加者の交流も図られました。なお、総会の出席状況は、当日出席35人、書面出席45人、委任状19人、計99人でした(正会員193人)。

II. 第1回継承センター設立委員会のご報告

6月28日、第1回継承センター設立委員会が東京四谷主婦会館プラザエフで開催されました。この委員会は、「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産の継承センター」の基本構想を受けて、現実的な継承センターの設立プランを策定し、その実現を図ることを目的としています。向こう一年間で検討し、3月頃を目途に成案が得られるようめざします。

(1) 基本構想における「継承センター」の位置づけ

“ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産の継承センター”は、被爆者たちによる原爆のたたかい（運動）を人類のあゆみ・歴史に刻むアーカイブスである。原爆が人間にもたらした「死」と「生」に関する証言（言葉や作品・モニュメント）を散逸させず、形ある「記憶遺産」として、後世にあまねく伝え「継承」し、「核兵器も戦争もない世界」をきづく「平和の砦」になる。これを実現するため本センターを設立する。

(2) 委員会の構成

委員長 岩佐幹三（会代表理事）
委員 大岩孝平（一般社団法人 東友会代表理事）
大久保賢一（会理事、弁護士）
岡山史興（賛助会員、会のweb担当）
田中熙巳（日本被団協事務局長）
橋本左内（会理事、宗平協相談役）
濱谷正晴（一橋大「原爆と人間アーカイブ」責任者）
藤森俊希（日本被団協事務局次長）
舟橋喜恵（会理事、広島大名誉教授）
山根和代（会理事、立命館大平和ミュージアム副館長）
安田和也（会理事、第5福竜丸平和協会事務局長）
吉田一人（会理事）
渡邊英徳（首都大東京准教授ヒロシマ・ナガサキアーカイブ主宰）

(3) 委員会の運営と検討課題について

委員会の下に部会を設け、具体的な検討を進めることとします。（例）資料庫部会、建築部会、電子化部会、継承交流部会、資金宣伝部会など。

III. 「核兵器の反人間性に関するレポート」について

原爆被害者の立場から核兵器の反人間性について広く内外に知らせようと、継承する会が昨夏からとりくんできた証言と映像による作品の第一作、「原爆は人間として死ぬこ

とも 生きること も ゆるさなかった」が、このほど完成しました。

Part I 岩佐幹三さん（広島市富士見町、爆心から 1.2 km で被爆、当時 16 歳）の証言

Part II 越智晴子さん（広島市千田町 2 丁目、同 1.7 km で被爆、当時 22 歳）の証言

Part III 人間にとっての極限状況

被団協 1985 年調査の『「あの日」の証言』と被爆者が描いた絵より

Part IV 二度と だれにも 味わわせたくない

の 4 部からなるこの作品は、原爆がもたらした人間被害、なかでも比較的取り上げられることの少ない心に受けた傷に焦点をあてて作られています。（全体で約 36 分）

「母が生きながらにして焼け死ぬのを見殺しにして逃げた」（岩佐）

「一緒に連れて行って、という 3 人の少女を途中で見捨ててしまいました」（越智）

「誰をしても、人間らしい行動ができない状況」をつくりだした原爆の反人間性、そしてそのような人間にとっての極限状況（地獄）を体験した人間が、どのような苦しみを抱え、何を願って生きてきたのかが、被爆者のことばと絵を通して心に訴えかけてきます。

並行して英訳作業もすすめており、この作品は当会のホームページや You Tube で公開するとともに、9 月 19～22 日に韓国で開かれる第 8 回国際平和博物館会議など国際交流の場でも活用される予定です。また、様々な場面で活用していただけるよう、DVD に制作して普及していく予定です。

その詳細については、あらためてホームページや「通信」でお知らせします。

原爆のもたらした被害の反人間性を伝える映像作品の第二作以降は、短い作品を数多く次々にネット上にアップしていきたいと考えています。そのための資料収集も始まっています。

IV. 第 2 回ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク打ち合わせのご報告

5 月 24 日に行われたネットワークの第 2 回打ち合わせには 20 名が参加しました。各地の取り組みの報告、web サイトリニューアルの報告と継承ポータルや継承ブログの使い方、聞き取った証言の掲載の紹介と活用について提案、討議がありました。

ネットワークで聞き取った被爆証言をもとに、日本被団協と協力して被爆 70 年、2015 年 NPT 再検討会議に向けた冊子をつくることにしました。この冊子は、NPT 再検討会議に参加する日本被団協の代表の国連の各国政府代表部への要請行動や、国内で日本政府に要請する際に活用し、また代表を派遣する諸団体などで事前学習や現地行動のときにも使えるものとし、12 月に日本語版を、来年 3 月に英語版の発行をめざします。この冊子の編集などの実務作業を進めながら、12 月に予定している「ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい」の企画なども検討することになりました。

また、冊子の編集作業は打合せとは別日程で作業日を設けて実際の作業を進めていくこ

となり、6月21日(土)の第1回作業日は10名の参加で、集まった聞き取り票にもとづいて冊子の編集方針や継承する会 web サイトでの「ネットワーク」の活動の紹介などについて話し合い、作業を進めました。

【ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク 第2回作業日】

(日時) 2014年7月19日(土) 14:00~16:00

(場所) 主婦会館プラザエフ5F会議室

(内容)

被爆70年、NPT再検討会議に向けた冊子の編集方針について

ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい(12月)について ほか

【ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク 第3回打ち合わせ】

(日時) 2014年9月6日(土) 14:00~16:00

(場所) 主婦会館プラザエフ5F会議室

(内容)

各地の取り組みの報告、

被爆70年、NPT再検討会議に向けた冊子作成について、

ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい(12月)について ほか

このネットワークはグループ、個人どなたでも参加できる、各地の取り組みを結ぶゆるやかなネットワークです。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

【第2回打ち合わせ、第1回作業日で紹介された各地の取り組み状況など】

コープあいち被爆者の声を聞き取る会

今年のコープあいちの総代会の中で時間をもらい“聞き取る会”のお話をする事ができるようになりました。被爆者のお話を聞いて記録をしていくにはベテランと新しい人でチームをつくる、コーディネーターと会員さんをつなぐなどしていかなくてはなりません。7月に被爆者の記録を取るということはどういうことなのか学習会を開催します。岐阜県でも取り組みの準備を進めているとのことです。連携して学習会をしたいと考えています。

【コープあいち聞き取る会の予定】

6月21日(土) 13:30~ 定例会、14:30~ 聞き取り

場所 コープ本山 第二会議室

7月13日(日) 13:30~ 学習会

場所 コープ本山 多用途室

*お問い合わせ

連絡先 TEL・FAX:0572-52-2340 :加藤 登喜枝

東京高校生平和ゼミナール

東京高校生平和ゼミナールでは、昨年から東友会に協力を頂きながら、高校生が被爆者から直接話を聞き、感想を交流し合ったりする取り組みを始めています。昨年は6月、8月、11月と3回行い、12月の高校生平和のつどいの分科会の一つでも児玉さんのお話を聞くという取り組みをしました。しかしその後は3年生が卒業し新しい年度への交代ということもあって、今年になってからは被爆者の証言を聞き取り受け継ぐという取り組みは行われていません。これから8月に向けて広島への平和学習旅行などもありますので、それに向けてこの取り組みを進めていきたいと思っています。

高校生平和ゼミナールは全国いくつかの地域にあるので、そこにも呼びかけをして取り組めるところは取り組んで行こうということを確認しています。岐阜が具体的に動き出していますし、広島でもあらためて被爆者の話を聞いていこうという動きがはじまっていると伺っています。

コープネットグループ労働組合

コープネットグループ労組も生協労連の提起を受けてNPT再検討会議に代表を送ります。ただ代表を送り出すだけではなく、小グループで被爆者の証言をじっくりと聞き、思いを交流することで、しっかりと被爆者の思いを受けとめ、自らも主体的に参加することをしていきたいと考えています。コープネットグループ労組は東京、千葉、埼玉、群馬、新潟という広域の労働組合です。埼玉はこれまで地道に聞き取りをやってきましたが、他は労働組合では取り組めていませんでした。そこで埼玉4回、東京、千葉、群馬、新潟で各1回で聞き取りを行ったうえでNPT再検討会議に参加するというイメージになっています。コープネットグループ労組では聞き取った証言を『8月の晴れた日に』という証言集にまとめていきます。被爆体験聞き書き行動実行委員会として、①コープみらい平和クラブぴよんふぁの聞き取り行動（7月30日11:00～12:30 コープみらい狭山台店メイト室 最寄り駅狭山市駅）と、②医療生協原水爆禁止平和行動結団式での聞き取り行動（7月24日15:00～川口共同病院ふれあい会館）に参加の予定です。

千葉県原爆被爆者の被爆体験聞き取り実行委員会

昨年の9月に生協の組合員さん、原爆被爆者友愛会、地域の色々な団体の方で実行委員会を立ち上げました。定期的に実行委員会を開催しながら、千葉県を3つのブロックに分けてブロックごとに聞き取りを進め、4月末で17人の方から聞き取りを行いました。編集委員会を5月に立ち上げて冊子を千葉でも作ろうという動きになっています。千葉では単に聞き取りの証言集を作るのではなく、編集方針（案）としては私たち自身が聞き取った被爆体験をどう受けとめ、次世代に何を伝えたいかをメッセージとして内外に向けて発信することを目指しています。参加している実行委員自身が聞き取りを体験してどんな変化があったのか、これからどうしようと思っているかがきちんと伝わるような中身にしたい。もちろん聞き取りした結果も載せるのですが、それに対する感想や、実行委員同士で座談会を行ったものも載せたいという話をしています。協賛金をどう集めるか、冊子の作成作業をどうすすめるかが課題です。編集委員会は事務局プラス4～5名、月1回のペースで会議を持ちながら、実行委員会と並行して進めています。

コープみらい平和クラブ ピョンファ（埼玉）

ピョンファというのは去年出来た平和クラブ（埼玉西南ブロック）ですが、年1回は聞き取りをやっていこうということで、今回が2回目になります。地域内に生協のお店がいくつもあるので、開催するお店を固定しないで回りながら取り組んでいます。前半は私たちの場合は初めて話される被爆者のお話を少人数でもいいから聞く、後半は鶴を折るとか絵本を読むとか、そういう形で取り組んでいます。

8月2～4日、埼玉平和のための戦争展が浦和のコルソであります。去年も取り組みましたが、そこで被爆者の体験を聞く場所を設けて、少人数で聞くことを予定しています。今年はまだですが、越谷や浦和でも平和クラブで聞き取りをしています。

【今後の予定】

7月30日（水）コープみらい埼玉狭山台店メイト室
午前10時30分～午後4時まで
被爆体験の聞き取りと「原爆と人間展」

V. 継承する会の紹介パンフ

「記憶遺産を継承する会って何？」 「どんなことやってるの？」

なかなか会の存在と姿が見えない、という声に応じて、継承する会とその活動を紹介するパンフレット『NO MORE HIBAKUSHA 受け継いで、未来へ』を作成しています（7月15日完成予定）。

イラストや写真もとり入れたカラー印刷のA5判、16ページ。

おもな内容は次のとおり。

- “ノーモア・ヒバクシャ”は未来へのメッセージ 会がめざすところ
- 子どもたち、孫たちに 核兵器も戦争もない世界を手渡したい
- 会が取り組んでいること
 - ① 資料の収集、保存、ネットワークづくり
 - ② 被爆証言の聞き取り、継承の活動
- 設立をめざす「継承センター」の基本構想
- 核兵器廃絶の原点 語り続けてきた被爆者たち
- 記憶遺産継承の活動をご一緒に！（会からの呼びかけ）

パンフの頒価は、1冊200円（送料実費）。

この夏の諸行事や被爆70年に向けた様々な活動のなかで、継承する会への参加、協力を広く呼びかけていくために、このパンフレットの大量普及・活用にぜひご協力ください。

VI. 継承の取り組みのご紹介（第7回）

（1）生協労連 2015年NPT再検討会議に向けて学習と運動をひろげよう

生協労連 柳恵美子

生協労連平和活動推進委員会では、2015年NPT再検討会議へ向けたとりくみとして、5月9日に「ヒバクシャ証言聞き取り」をおこないました。生協労連としては、初めての取り組みでしたので、記憶遺産を継承する会にも協力いただき、東友会の東條明子さんからの証言を聞き取りました。

東條さんは、東京大空襲を経験され、疎開先の広島で被爆したということで、この体験は私にしか話せないから、語り継がなければとの想いで続けられているとのことでした。当日の参加者は、大勢の場で語り部さんの話を聞くことはあったが、今回のような少人数での聞き取りと、ディスカッションは初めてでした。ですから、どこまで質問していいのかと迷いながらも、これまで語り部さんから聞くことがなかった、被爆後の生活や体調のことなどをお話していただきました。この体験をそれぞれの地域でもおこない、来年のニューヨーク行動へつなげて行きたいと思っています。

前回のNPT再検討会議へは、生協労連全体で36人の代表団を派遣しましたが、来年はそれ以上の代表団の派遣をめざしています。そして、派遣者を早めに確定させ、その人たちを中心に学習と運動を大きく広げ、「行動すれば世界は変わる」そのことに確信をもって、ニューヨーク行動へ参加できるようにしていきます。

（2）全国大学生協連 Peace Now! Hiroshima 2014 実行委員会

5月25日(日)、全国大学生協連が主催するPeace Now! Hiroshima 2014 第1回実行委員会が開催されました。「Peace Now! Hiroshima」とは、毎年8月4日～7日にかけて3泊4日で行われる平和に関する体験型プログラムです。この企画に参加をするのは主に大学生ですが、この企画を組み立て、運営するのも大学生です。今年は、広島大、山口大、愛媛大、徳島大の学生計7名と当日学生事務局により60名ほどの参加者を受け入れて企画運営ができるよう準備を進めています。私たち実行委員は、大学生協の学生委員会（注1）で平和の活動をするなどの経験はあっても、ヒロシマについての知識はまだまだ、というところからのスタートです。そのため、第1回実行委員会では学習することを重点に実施しました。その学習の一環として、今年は実行委員会の場で被爆者の方のお話を聞く機会を設けようということになり、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産継承の事務局の島村さん、日本被団協事務局の工藤さんによるご紹介を受けて、箕牧智之さんにご講話いただきました。

箕牧さんからは、自身が3歳の時に経験されたヒロシマの原爆投下当日のこと、記憶に残っている被爆当時の有り様、原爆が落ちた後の広島で暮らす子供たちの様子、幼い当時

にお母さんから聞いたこと、戦後なかなか原爆への理解が広まらなかったこと等について教えていただきました。箕牧さんのお話を受けて、実行委員はそれぞれに刺激を受けたようでした。講話いただいた後の感想交流にて、実行委員からは「自分のはのほほんと暮らしているけど、当時の子供たちは戦後たくましく生きていたことを写真やいただいたお話から感じた。復興は人が頑張ったからできたということを参加者に伝えたい」、「社会情勢について自分たちがきちんと考えて、戦争が始まる前の日本の状態にもどっちゃわないように、考えないといけないと感じた。参加者にも、このことについて考えてもらえるように企画内容を作りたい」等の声がありました。実行委員は、箕牧さんからの講話の前日に平和祈念資料館を訪ねたり、碑をめぐるつもりもしましたが、それだけでは学び取れないことを今回の講話で得ることができたと思います。

その後、実行委員では「Peace Now! Hiroshima」で行う班別フィールドワークの企画書を作成し、内容づくりを進めています。大学生協の全国セミナーという形で平和を伝える側に立つのは初めてという学生が大半という中ですが、自分たちが語り継ぎ、平和について考えていかなければいけないという意識で取り組んでいます。今年のPeace Now!のテーマは「知り、考え、行動する夏！～70年目へつなげる平和への想い～」です。このテーマを掲げ、節目である戦後70年を目前に、語り継げる最後の世代であることを意識して企画作りに臨んでいきたいと思っています。

(注1) 学生委員会とは…組合員により組織される生協のなかでも、大学生協は大学を職域としているため組合員の大半が大学生です。その大学生の実態やニーズに合うように組合員活動をするために、学生委員会という組織があります。学生委員会は各大学生協の理事会の執行機関のひとつとして、店舗や食堂等の場面で組合員のために活動を行っています。その活動のひとつとして平和に関する取り組みも行っている学生委員会があります。平和に関する取り組みの具体例として、組合員に折鶴を折り平和を考えてもらう企画の実施や、募金活動の呼びかけなどがあります。

VII. 各地の原爆展や原爆死没者追悼式・慰霊祭などの行事

「被団協」新聞第425号および426号掲載の被爆者組織の行事を紹介します。

****以下転載****

▽第6 2回平和美術展

8月12～20日東京上野・東京都美術館*原爆犠牲者肖像画が展示されます。

〈以下、各都道府県被団協からの6月23日現在日本被団協への報告分〉

[北海道]

- 原爆死没者追悼会 8月6日 ホテルノースシティ
[秋田]
原爆死没者慰霊祭 8月6日 ビューホテル秋田
[岩手]
原爆写真・パネル展8月8～10日 奥州市市民プラザマッセ市民ギャラリーほか
原爆死没者追悼式8月9日 奥州市市民プラザマッセ多目的ホール
[宮城]
原爆死没者追悼平和祈念式典 7月21日 仙台市復興記念館
原爆パネル展 7月18～25日 県庁1階ロビー
原爆と人間展 7月26～27日 仙台福祉プラザ
原爆パネル展 8月8～15日 県庁
「はだしのゲン」上映会 8月20日 仙台市福祉プラザ
[福島]
原爆と人間展 5月31日～6月1日 西会津公民館
[栃木]
原爆パネル展 7月25～29日 宇都宮市労働者福祉センター
原爆死没者慰霊祭 8月23日 県総合運動公園憩いの森
[東京]
つたえようヒロシマ・ナガサキ東京原爆展2014
7月18～23日 都庁第1本庁舎45階南展望室
原爆犠牲者追悼のつどい 9月29日 テクノプラザ葛飾
[埼玉]
原爆死没者慰霊式 7月27日 別所沼公園
平和のための戦争展 8月2～4日 浦和コルソ
ピースフォーラムinさいたま 10月14日 埼玉会館ホール
[千葉]
原爆死没者慰霊式典 7月27日 亥鼻公園
原爆と人間パネル展と原爆体験の語り 8月5～8日 県庁内市民広場
ピースフェスティバルCHIBA 8月24日 千葉市文化会館
[神奈川]
原爆展 7月16日～8月15日 県庁新庁舎展示室
原爆と人間展 8月23～25日 横浜そごう前新都市プラザ
原爆犠牲者慰霊祭 10月5日 大船観音
[山梨]
語る・考えるヒロシマとフクシマ 7月27日 山梨平和ミュージアム
甲府YWCA原爆展 8月22～24日 山交百貨店
[静岡]

原爆と人間展 7月25～31日 県庁別館21階展望ホール

原爆死没者慰霊・追悼式 10月5日 静岡市鉄舟寺

[愛知]

原爆犠牲者を偲ぶつどい 7月9日 名古屋市公会堂

原爆絵画展 8月5～10日 名古屋市博物館

[岐阜]

原爆死没者慰霊祭 7月20日 じゅうろくプラザ

原爆と人間展 6月22～24日 鏡原産業文化センター

7月26～27日 大垣文化会館

7月30日～8月1日 岐阜市役所

8月7～10日 羽島文化センター

8月15～17日 多治見市文化会館

8月25～31日 県民ふれあい福寿会館

[石川]

反核平和おりづる市民のつどい 7月27日 金沢市卯辰山玉兔が丘

原爆と人間展 8月5～18日 県庁19階展望台ロビー

金沢市福祉のつどい 9月7日 松ヶ枝福祉館

[福井]

被爆者追悼式典 11月 福井市千福寺

[京都]

原爆死没者慰霊式典 7月27日 霊山観音教会

原爆慰霊ミニポスター展 8月 府庁展示ロビー

原爆慰霊写真・絵展 10月 京都駅ビル

[大阪]

原爆被災写真展 8月1～6日、原爆犠牲者慰霊式8月6日 府立労働センター

[兵庫]

原爆死没者追悼慰霊祭 8月29日 神戸市婦人会館

原爆と人間写真展 7月31日～8月5日 デュオこうべギャラリー

[岡山]

原爆死没者慰霊祭 6月30日 岡山市ピュアリティまきび

原爆平和展 8月5～15日 岡山シティミュージアム

[広島]

原爆死没者追悼慰霊式 8月6日 メルパルク

国際平和デー集会 9月21日 平和公園

原爆ドーム世界遺産記念集会 12月5日 原爆ドーム前

[鳥取]

原爆死没者追悼・平和祈念式典 8月6日 鳥取市さざんか会館

[島根]

原爆死没者慰霊式典 10月16日 松江市北公園

[愛媛]

原爆死没者慰霊祭 8月6日 松山市石手川公園

[香川]

原爆死没者慰霊平和祈念祭 8月9日 高松市峰山公園

原爆写真展 8月4～8日 高松市役所

[鹿児島] 原爆と人間展 7月22～25日 鹿児島市役所

****転載終了****

詳しい日程などをお知りになりたい方は日本被団協にお問い合わせください。

【連絡先】

電話03-3438-1897（日本被団協）

VIII. 継承する会ホームページのリニューアルと、「継承ブログ」創設のお知らせ

「継承する会」ウェブ担当の岡山です。この度、会員の皆様や、「被爆体験の継承」に関心を持っていただいた方に、より適切に情報をお届けするため、1)会ホームページのリニューアル、2)継承ブログの立ち上げ、の2つの更新作業を行いました。

今回新しく立ち上げた「継承ブログ」は、証言活動に取り組む被爆者や被爆者の聞き取り活動に取り組む団体・個人が、全国各地で取り組む継承活動やイベント情報、また、「継承する会」が中心となって収集した「被爆体験」を紹介するニュース・メディアとして開設します。

「継承ポータル」の登録団体・個人が効果的に情報発信できる場を提供することで、これまでバラバラに発信されていた「被爆体験の継承」に関する情報が、社会に対してより広く知られるための支援を行います。ブログ上の情報発信をご希望される方は継承する会までお気軽にお問い合わせください。

なお、それぞれの新しいURLは下記となります。

継承する会ホームページ <http://kiokuisan.com>

継承ブログ：<http://keishoblog.com>

IX. 被爆者の声を受ける映画祭2014のご案内

今年も7月3日（木）～6日（日）、明治大学リバティータワー（JR御茶ノ水駅下車）で「被爆者の声を受ける映画祭2014」（主催：被爆者の声を受ける映画祭実行委員会/明治大学軍縮平和研究所 後援：日本原水爆被害者団体協議会/ノーモア・ヒバクシ

ヤ記憶遺産を継承する会/千代田区) が開催されます。

プログラム[完全入替え制]

3日(木) プログラム1 18:30~21:00 教室1001号(地下1F)

ドキュメンタリー『原発の町を追われて 避難民・双葉町の記録』正編・続編

4日(金) プログラム2 18:30~21:00 教室1001号(地下1F)

ドキュメンタリー『未来へのメッセージ~神奈川の被爆者が伝えたいこと~』

ドキュメンタリー『原爆症認定集団訴訟の記録 おりづる』

5日(土) プログラム3 10:00~12:15 リバティールホール(1F)

劇映画『千羽づる』

プログラム4 13:30~15:45 リバティールホール(1F)

劇映画『ふたりのイーダ』

プログラム5 16:45~19:00 リバティールホール(1F)

ドキュメンタリー『サクリファス』

ドキュメンタリー『ブラジルに生きるヒバクシャ』

6日(日) プログラム6 10:00~12:00 リバティールホール(1F)

ドキュメンタリー『フクシマ2011~被曝に晒された人々の記録』

プログラム7 13:30~15:40

劇映画『TOMORROW 明日』

プログラム8 16:30~19:00

劇映画『アオギリにたくして』

大人【前売】1000円 【当日】1200円

学生【前売】500円 【当日】600円

【4日間フリーパス鑑賞券 5000円】

詳しくは<http://hikakueiga.exblog.jp>をご覧ください。

継承ブログにもプログラムが掲載されています。

X. 2014年度会費納入のお願い

会費の振込用紙を同封させていただきました。すでにお納めいただいているみなさまには振込用紙は入っておりません。ご送金と前後した場合はお許しください。領収証が必要な方はご連絡下さい。領収証をお送りいたします。また、振込用紙には正会員、賛助会員、賛助団体、寄付金の該当項目にチェックを入れてお送りください。